

2024年12月10日  
野村資産形成研究センター  
研究員 藪内大助

## 1 万人アンケートに見る年収 2,000 万円以上の人についての分析

最近是人材不足やインフレの影響で賃上げの動きが目立っています。

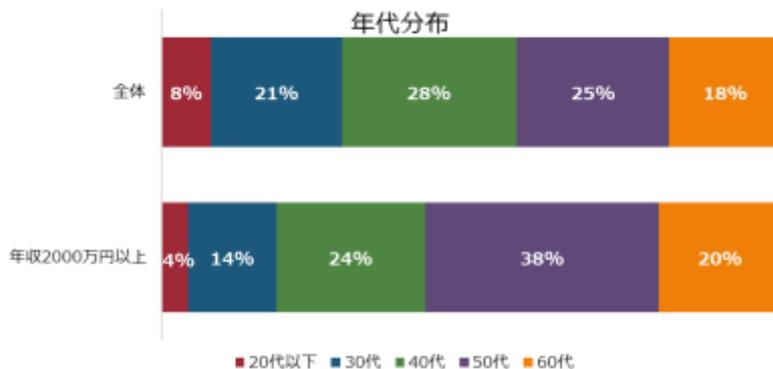
しかし、自分の期待する年収にはまだまだと思っている人も多いはずです。

今回は、野村資産形成研究センターが実施したファイナンシャル・ウェルネス（お金の健康度）アンケート 2023\*において、年収 2,000 万円以上と回答のあった 162 人（以下、「年収 2,000 万円以上」）の方々について、回答者全体（11,052 人）（以下、「全体」）と比較してみたいと思います。

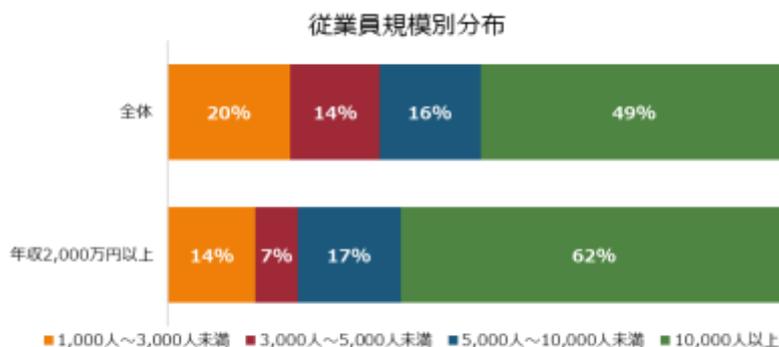
ちなみに、このアンケートにおける年収 2,000 万円以上の人の出現率は 1.5%（162 人/11,052 人）となっています。

### <年収 2,000 万円以上の人属性>

まずは年代です。年収が 2,000 万円以上の人は全体と比較すると 50 代の方の割合が多いようです。



従業員規模別でみると、年収 2,000 万円以上の人は 1 万人以上の企業に属している人の割合が相対的に多くなっています。



このレポートは、資産形成に関する参考情報の提供を目的に作成されたもので、投資勧誘を目的としていません。また、レポートの内容については万全を期しておりますが、記載されている全ての情報の正確性及び完全性等を保証するものではありません。このレポートのいかなる部分も野村資産形成研究センターに帰属しておりますので、電子的か機械的かまたはその他のいかなる方法であるかを問わず、どのような目的でも無断で複製または転送等を行なわないようお願いいたします。

## <年収 2,000 万円以上の人の考え方>

次は考え方に関する比較です。

「あなたは今の勤務先の社員であることを誇りに思いますか。」

という問いに対し、年収 2,000 万円以上の人の一番多い答えは「そう思う」で、次に多い回答は「まあそう思う」となっています。全体では「まあそう思う」が一番多い回答で、「あまりそう思わない」が 2 番目に多い回答です。

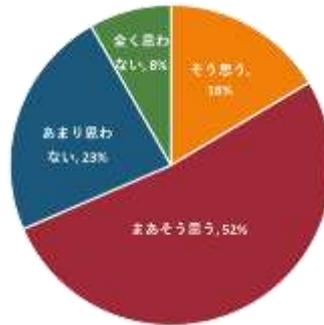
このように年収 2,000 万円以上の人は今の勤務先で働いていることに誇りをもっている人の割合が多いようです。

「あなたは今の勤務先の社員であることを誇りに思いますか？」

年収 2,000 万円以上



全体



「人生に満足していますか」という問いに対しても上記と似た傾向があります。

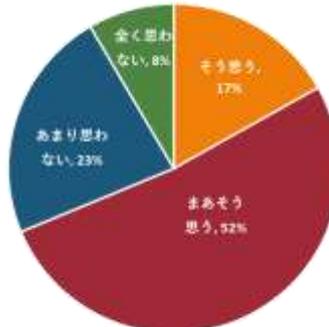
年収 2,000 万円以上の人の一番多い回答は「そう思う」で、「まあそう思う」が続きます。全体では「まあそう思う」が一番多く「あまり思わない」が 2 番目に多い答えとなっています。

「人生に満足していますか？」

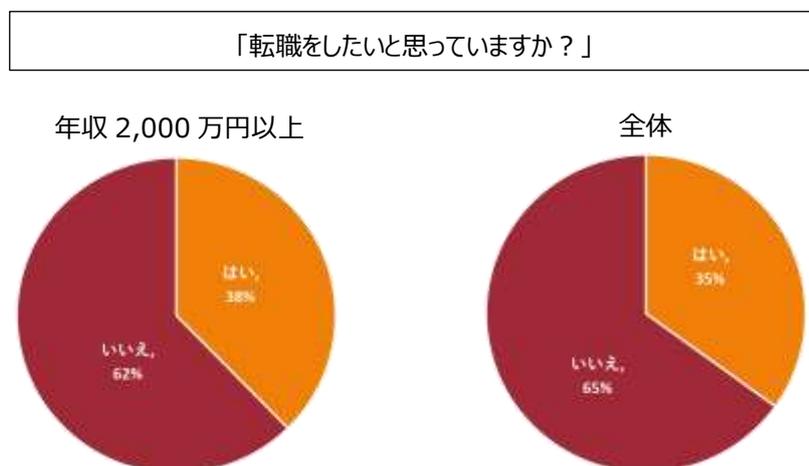
年収 2,000 万円以上



全体



「転職をしたいと思っていますか」という問いに対して「はい」と回答した人の割合は、年収 2,000 万円以上の人では 38%、全体で 35%とあまり差がありません。



「考え方」の部分をもとめると、年収 2,000 万円以上の方は相対的に「現在の勤務先」に対して誇りを持っていて「人生の満足度」が高いようです。ただし、「転職意向」は全体平均と同程度で年収と相関がみられないようです。

### <年収 2,000 万円以上の方の金融リテラシー>

次は、年収 2,000 万円以上の方の金融リテラシーについて全体と比較してみましょう。

下記の 6 問に対して、全問正解者の割合は年収 2,000 万円以上の方は「14.2%」、全体では「10.7%」、全問不正解者の割合は年収 2,000 万円以上の方は「0.6%」、全体は「1.0%」という結果でした。

これだけを見ると年収 2,000 万円以上の方が金融リテラシーレベルは高いようですが、個別に見ると少し見え方が変わってきます。

下記表は、金融リテラシーに関する質問と正解率を示したものです。

質問	年収 2,000 万円以上	全体
1 元金 100 万円を年率 2%で銀行に預金しました。2 年後、元利合計でいくらでしょうか。	70%	50%
2 高いインフレーションのときには、生活に使うものやサービスの値段全般が急速に上昇する。	77%	74%
3 世の中には、ローリスクであっても、高い利回りの運用方法が存在する。	34%	39%
4 金利が上がっていくときに、資金の運用は固定金利、借入は変動金利にするとよい。	55%	54%
5 ドルコスト平均法の意味を知っている。	65%	45%
6 2024 年 1 月からスタートする新 NISA の生涯投資枠は 2,000 万円である。	61%	75%

1 番目と 5 番目の質問は年収 2,000 万円の方が正解している割合が大きいです、2 番目と 4 番目では大差はなく、3 番目と 6 番目の質問に至っては全体の方が高い正解率となっています。  
この結果からも金融リテラシーを上げるのは年収ではなく、自分自身の意識によるものと推察されます。

\*1 ファイナンシャル・ウェルネス（お金の健康度）アンケート

調査方法：WEB アンケート

調査期間：2023 年 10 月 3 日（火）～2023 年 10 月 13 日（金）

調査対象（回答者数）：従業員数 1,000 人以上の上場会社従業員（11,052 名）